

令和5年度第1回子ども・子育て会議 未来子育て部会 会議録

令和5年8月10日（木）15：00～16：45
今治市役所 第3別館1階 311会議室

令和5年度第1回子ども・子育て会議 未来子育て部会 会議録（概要）

- 1 日 時 令和5年8月10日（木） 15:00～16:45
- 2 会 場 今治市役所 第3別館1階 311会議室
- 3 議 題 ・今治版ネウボラの現在の取組みについて
・今治版ネウボラ拠点施設整備の検討について
- 4 出席者 【委 員】5名
泉浩徳委員（部会長）、龍田三津子委員、越智瑞啓委員、織田慎吾委員、
田窪良子委員

【事務局】10名
こども未来政策局長、こども未来課長、ネウボラ政策課長、
保育幼稚園課長、健康推進課長補佐、ネウボラ政策課長補佐3名、
ネウボラ政策課ネウボラ拠点施設推進室主査
ネウボラ政策課ネウボラ政策係主事

【事業者】2名
株式会社いよぎん地域経済研究センター
- 5 欠席者 【委 員】1名
村上ひかる委員

6 会議内容

部 会 長	当会議の開会 出席者は部会委員6名の内、5名出席。1名欠席。「今治市子ども・子育て会議条例第7条第2項」に規定する、半数以上の出席要件を満たしており、本会議が成立している旨報告。 会議録署名委員に龍田三津子委員を指名。 議題（1）今治版ネウボラの現在の取組みについて、事務局から説明を求める。
-------	---

事 務 局	資料 1 により説明。 【新規・拡充事業について】 ・ 今治版ネウボラ地域子育て支援基盤強化事業 ・ 5 歳児相談事業 ・ 乳幼児・保護者同時健診事業（パパママすまいる健診） ・ 不妊治療費等補助事業 ・ UIJ ターン保育士支援事業 ・ 一時預かり拡充事業 【その他】 ・ こどもまんなか応援サポーター宣言 ・ MAYAMAXX smile color week 赤ちゃん”にぎにぎ”はじめての造作 ・ 子どもの虐待防止講演会
部 会 長	説明に対する意見・質問を求める。
田 窪 委 員	新規の 5 歳児相談事業について、保護者の方がウェブサイトで入力をしてスクリーニングにつなげるというご説明をいただいて、今までも、健診をすり抜けてしまった子たちは保護者が意図的に健診に行かないというケースがあったので、手軽なスマホだと入力してくれるのかなという希望も持ちながら聞いていた。就学直前の転入の場合、前居住地で 5 歳児健診等もされているのであれば情報を共有できればいいと思いました。 外国ルーツの、設問自体が読めない方にはどなたかがサポートしてくれるのかなというのを思いました。今の時点でその対象年齢の保護者の中にそういう方がいらっしゃるのかどうかというところまで把握できてないのですが、将来的な導入のことも考えてご質問です。
事 務 局	スクリーニングは、保護者が入力して、同意をもらった方に関しては先生も入力し園での集団の様子と家庭での様子を一緒にあわせて総合的な結果としてスクリーニング判定が出るようなシステムになっています。 外国人の保護者に関しては、予防接種や母子健康手帳は英語版を作成していますが、国際交流センターの通訳さんや地域の方とも連携し、事前にわかっている方に関しては健診時に同席していただくなど、随時対応できるように地域の保健師に相談していただければと思います。
越 智 委 員	最初から一貫して言うことは一つ、「待つ」という政策だと、やはり漏れ

	てくるお子さんがたくさん出てきている。漏れたお子さんを持つ保護者の方が利用しやすいような工夫というものを、資料をずっと読ませてもらっても、縦的には素晴らしい提案でいいと思うが、実際今子育て世代包括支援センターがあっても同じことをしているんですよね。でもできてないというのが現実だと思いますので、納得するような何かがないのかどうか、と思います。
事 務 局	各家庭への訪問は、しっかりと福祉のほうで介入できるようにしているが、いかに早く行政サービスにつなげるような声をキャッチできるか。そのためのセーフティーネット網の目は、サービスの充実によって詰めていっておる最中ですが、今後も課題として一つずつ政策を充実させていくしかないのかなという思いで進めさせていただいております。
越 智 委 員	最近は虐待をしているということがわからない保護者が増えている。その保護者に説明ができるような組織にならないといけない。子育て世代包括支援センターで保健師、助産師がいろいろと動いてくれているのは素晴らしいが、横のつながりが今回のプランで一番必要ではないか。連携がしっかりとれる構図をつくることも含めてこれから考えていただきたいと思います。
部 会 長	まさにその通りで、チームでアプローチをするのだろうが、福祉関係というのは具体的にどのような方を指すのでしょうか。
事 務 局	地域の見守り含めて子育てに関わる様々な関係機関が、福祉関係になるのかなと。それと少し一線を画したところで、教育現場が今まで情報共有が難しかった。文科省管轄と厚労省管轄の縦割りという部分がネックになっていた部分については、今、教育委員会と市の福祉関係機関がニューボラを窓口非常に密接にケース会議などで情報共有させていただいておりますし、ニューボラに入った情報について、福祉サービス、子育て関連機関で関わるお子さん方をケース会議で情報共有して見守っていく。そういう体制が構築できておるのかなというところですが、さらに密にするということは今後も引き続き取り組むべき課題だと考えております。
越 智 委 員	今日のような会議に、教育委員会の方も入ってほしい。教員になった人に対し奨学金の返済を減免するという文科省の概算要求がなされたニュースを目にした。教育委員会と横のつながりがあれば、保育者不足の課題に

	についても一緒に考えることもできるのではないかとも思いました。
部 会 長	子ども・子育て会議には教育委員会も参加しますね。
龍 田 委 員	一時預かりの拡充とあるが、保育士が足りない状況の中でどのように職員を増やすのか。養成校を出た方が保育園に必ず勤めてくれるような、例えば卒業して保育園 3 年勤めたら 100 万円市が出しますよ。というくらいの補助をしてでも素晴らしい保育士の卵は育てるべきだと思います。国が「こども誰でも通園制度」のモデル事業を進めるといっているが、今治市はまだですね。
事 務 局	今回 UIJ ターン保育士支援事業も一つの方法として掲げています。9 月補正予算等でも保育士の確保策について打ち出して参りたい、ありとあらゆる手段を考え、一つ一つ丁寧に出していきたいと考えております。こども誰でも通園制度について、現時点では実施は考えておりませんが国が打ち出していくならば、今治市でも取り組んでいかなければならない課題だと考えております。
部 会 長	予算や費用対効果など考えなければならないこともある。明德短期大学は養成校だが人数が少ない。松山などからも来てもらおうとかいろいろ考えていかないと集まらないというのも現実かなと。やはり処遇改善。予算の関係もあり難しいと思いますが、市長にも異次元の少子化対策として保育者対策をお願いしておりましたので、是非お願いしたいと思います。
越 智 委 員	学童クラブを運営しているが、学童の中に入りにくいお子さんがいたり、もめごとが起こったりしているのが現状。学童の職員は、「放課後学童支援員」の資格が必要。保育士、幼稚園教諭不足の問題に対して、「子育て支援員」という制度があり、その中に学童職員のコースがある。ただその資格を取るためには、松山までいかないといけない。例えば、明德短期大学で講習会を受けられるなどできるようになればいいと思います。
事 務 局	県へオンライン研修ができないかと働きかけており、来年度辺り実現していくようお願いしております。
部 会 長	オンラインでいいですね。ただ、子育て支援員は 1 週間～10 日で専門家になるんですね。申し訳ないが、専門性は低く、レベル的にはあまりよく

田 窪 委 員	ない方も多いです。正直に申し上げてそう感じました。 地域という立場からお伝えしたいのが、保育所・幼稚園はマンパワー不足。児童クラブや、学童でなかなか過ごせない子どもたちをどこで支えるかという、今私達がさせてもらっている地域の活動。これが週5日いるわけではないと思う。無料だから低価格だからそこに集中する、児童館とかきっとそうだと思います。 私たちが今やっている居場所づくりを有料にした途端、やっぱりグッと利用者が減りました。ただ、その子に見合ったことをこれだけやりますというところに親御さんが納得してくれる場合は続けて通わせてくれる。 マンパワーをいかに充足させるか、その資質をどうするかというところが常に問題だと思いますが、負荷のかかるところにさらに負荷をかけるよりは多少地域の経験のある人達、すでに居場所や子ども食堂などをされている方たちのマンパワーを活用するというのが地域力ということ。アウトリーチもできるし、ニーズも拾いやすいという側面もあるかと思う。人数が少なくても協力し合えるような環境づくりというのが今不足しているのかなと思います。それこそ横の繋がりで本当に小さな団体まで集まって意見交換ができるようなところがあると、実情に合った、地域に合った現実というのがわかりやすくなるのかなと思いました。
越 智 委 員	今治版ネウボラ（仮称）について、こども家庭庁の資料を見ても、どこにもネウボラが出てこない。ご存知の通り、私が市長に提言したことで使ってくださっているのはすごく嬉しいが、それはフィンランドでこういうことをしているから今治でもしませんかという話。国が進めている伴走型支援はネウボラのことだが、日本ではネウボラという言葉を使わない。伴走型支援について今治的な発想でそろそろ考え直さないといけない時期かなと思います。条例をつくって、質を下げる緩和ではなくて、この伴走型支援をする保育士、幼稚園教諭でなくてもそういう世界に入っていくことができるような体制づくりをお願いできたらと思います。
部 会 長	ネーミングは独自のということですか。
越 智 委 員	国と逆の名前だといけないので。そうですね。 実は人口減少の会が国で発足して、愛媛県からは19人参加しているが今治は入ってない。子育て支援と人口減少は両輪で考えないといけないのに、人口減少は愛媛県に任せてというふうにしか私は感じない。そこは

	愛媛県知事が、舵取りを仕切っとるわけですので、人口減少のこともやはり考えて行かなければならないと思います。
事務局	これまでどうしても施設名を決めかねるのでこのような形になっているが、市民の皆さんに賛同いただくためにも、仮称を外して、ネーミングの公募などいずれ時期を見て、ぜひ取り組ませていただきたいと思います。条例のご意見については、条例というより、資格がない中で市独自に支援者をどのように育成していくかということ、引き続き泉会長と連携しどのような形で構築していくべきか考えていきたいと思っております。
部会長	国は保育の専門性が必要といいながら、現実的には専門性が低い方という政策になっているんですよね。でもやはり子育ての専門性は、4年制大学に移行したりとある程度必要かなと思うところもあります。その辺りいろいろ行政と相談しながらやっていきたいと思っております。 議題（2）今治版ネウボラ拠点施設整備の検討について、事務局から説明を求める。
事務局	資料2により説明。 ・事業スケジュールについて ・建設予定地について ・モデルプランについて
部会長	説明に対する意見・質問を求める。
田窪委員	基本構想の15ページにある複合化する主な機能というところにいろいろ記載があるが、実際モデルプランの機能構成の図のところはどういったものが入るのか今の段階でわかれば教えていただきたいなと思います。
事務局	①子育て世代活動センターが、モデルプランのピンクがかった「ファミリー」部分で、ネウボラの子ども家庭総合支援拠点や包括支援センター、発達支援センターやばりっこ広場等が入ってきます。②保健センターがそのままオレンジ色の「保健センター」として配置されています。③児童センターが黄緑色の「児童センター」部分で今回かなり拡充のご要望があるということで非常に広がっております。この児童センターと先ほど「ファミリー」のところで出たばりっこ広場あたりかなり熟する部分がある

	うかと思っております。そして、最後に④地域交流センターが青で塗られた部分となっております。
越 智 委 員	結局日吉小学校の跡地はどうなるのか。
事 務 局	校舎のリノベーションも可能ではないだろうかということもあったが、校舎自体非常に古く、耐震やユニバーサルデザインに対応した使い勝手の面で非常に遅れており、そもそも日吉小学校の建物では収まりきらない今回の施設規模になっておることもあり、新築を想定しております。日吉小学校の建物自体は、コンパクトプラスネットワークの中で中心市街地のにぎわい創出のために、将来的な活用を検討するという事で切り分けて考えさせていただこうと思っています。
越 智 委 員	当初ホールが今のホールと同等のクラスのものができるだろうということを知っていたが、以前、中央公民館のホールでおゆうぎ会をしたら、親が1台、おじいちゃんおばあちゃんが1台車に乗ってくる。そうするとプランの中で一番多い230台でも間に合わない。もう今の時代箱物を作るというのは、時代錯誤の話でそれを前提で作るわけですので、それなりに反発は出てくると思う。だから作る以上は、今治版ネウボラと全国先駆けてこの言葉を使っているのであれば、やっぱりできてよかったねと言ってもらえるような中身の誇れる施設を作ってもらいたい。そこを踏まえて、駐車場を日吉小学校にもう少し整備したらいいのではと思っている。ハードの面は、中途半端にするのだったらもう思い切ってやるということも考えたらどうだろうか。これは地域再活性化のお金を使って作るんですよね。そこを増額すればどうかなと思いました。
事 務 局	財源としては、中心市街地再編整備の国交省の交付金活用メニューの中での位置付けで、それを最大限活用したいなと思っておるところです。ホールについては、中央公民館の機能を取り込む際に、約600人収容できる現在のホールの稼働率、また公会堂も1,000人規模である中で、どういった規模感が必要なのだろうかというのは、公民館側の利用者からもしっかりと声を聞いていかないといけないと思っております。ただ、複合化することによってトータル的には公共施設削減の方向に動かざるをえない部分もあります。その中で使い勝手のいい施設、お母さん方含めて、多世代が交流できるような形で、特に子育てに参画する人が極力この施設に関わることで増えていく。そういった支援者の育成も踏まえた施設

	にならないといけないということについても重々私たちも肝に据えて検討の方を進めていきたいと思っております。
部 会 長	中心市街地の再活性化におけるモデル事業の最初としてネウボラの拠点を作るというような言い方をした方が、市民にはもしかしたら納得いくのかなと思ったりしますがその辺はどうでしょうか。 あと市内児童館 5 つずつある中で、今後枝堀・本町とか計画的に縮小とか、統廃合されていくのか教えていただきたい。
事 務 局	児童館については、現在たたき台として出ているのが、日吉小学校跡ですので必然的に同じ吹揚小学校の校区にある枝堀については吸収すると思っております。本町はじめ、市内各所にある児童館については、極力身近なところでの子どもたちの居場所、あるいは相談の場所として、市内各所にサテライトとして設けながら、地域の身近な相談機能、遊び場はしっかり残していくことにしております。ですから拠点ができたからそこに全部集約ということは決してないので、その点はしっかりと拠点をハブにサテライトとして連携しながら市内全体の充実を図っていくというコンセプトで基本構想に沿って進めていきたいと思っております。 部会長がおっしゃられたようにシビックゾーンの再開発のリーディングプロジェクトの位置付けが、今回ネウボラになってそこから市内中心部のにぎわい創出のまず核となって先行的に進めていきたいというのが、市全体の考え方になってこようかと思えます。
部 会 長	日吉小学校跡地を駐車場にするというのは具体的には難しいのか。
事 務 局	駐車場確保の観点からいうと一体的に利用した方が利便性は高いという反面、周辺部の民間駐車場の活用なども場合によってはありえるのかどうあるべきなのか。その辺りも含めて、建物と合わせて敷地内・敷地外にはどの程度駐車場が必要か、利用の見通しもある程度持った中で、極力確保していきたいなどと思っています。 日吉小について今後、場合によっては駐車場、または違う用途のものとして活用されるといったことについては並行して検討が進められることとなりますので、また情報共有しながら、報告したいと思えます。
越 智 委 員	中高生の行き場がないとアンケート結果が出ていたと思う。気兼ねなく音楽演奏したり、ダンスしたりする場所が確かに今ない。そこで日吉小学

	校を耐震化して開放する場所を作ったらどうかと思う。 ネウボラ施設を建てるのに莫大なお金がかかるということなので、やるなら 18 歳までの居場所も充実させてほしい。長野県茅野市の駅前にそういった施設がある。みんなが見に来てくれるからと楽器の演奏やダンスをするスタジオの窓ガラスを透明にすると、若者が寄ってきて活性化しているというような事例もあります。
事務局	少し話は戻りますが、駐車場の問題で、この周りの土地の利活用の方法というものもありますし、例えば立体駐車場というのも 1 つの案であろいかと思います。あくまでこの利用者の利便性、高層になるのか低層でどちらが使いやすいか、横に配置した方がいいのかなどどういった観点でご意見をいただければありがたいです。
田 窪 委 員	③児童センターと④地域交流センターが中高生も使える音楽スタジオなども想定していると思います。
事務局	中高生のアンケートでも意見の出た居場所として、ダンス、音楽バンドの練習ができる場所は、他の事例も含めてあったらいいなということで、入れる予定です。この居場所については、交流機能も含めて、様々な取り組みや発表の場として活用していただきたい部分もありますので、そういった内装面での仕立てとしてあるいは外向きにガラス張りで道路から見えるような形もありえるのかなと思いながら聞かせていただきました。そういった実現に向けてのイメージ配置も、ぜひ参考にさせていただきたいと思います。
部 会 長	それでは、モデルプランの案でいろいろ課題とかございますけども、何かご意見あったらお願いします。
事務局	参考までに、例えば公園と建物が通路で分かれているのは、建物からそのまま外に出て公園で遊びたい場合には危ないというような意見、また兄弟を連れて行く時に歳が離れていると、お兄ちゃんは児童館、お母さん赤ちゃん抱えて子育てひろばにという場合にお母さん 1 人だと目が届かないという意見がありました。高層階になると、ファミリー層と児童センターが階が分かれているのはお母さんちょっと困るよねとか、実際に利用者目線でのご意見も、ぜひいただけたらと思いますがいかがでしょうか。

龍 田 委 員	建物にひつついたところに公園を持ってきて、駐車場をもっと道側に持ってくれば建物からすぐ外へ出てそこで砂場とかで遊べると思う。駐車場を道側にとっている方が皆も入りやすいと思う。そして、駐車場もちょっと少ないかなと思うが、できるなら立体駐車場にしたら、かなりの台数が入ると思う。親子で手をつないで歩いて渡って帰る。赤ちゃんを連れている方は建物横の駐車場を利用して、道を渡るの大変やから乳母車で行くねというように2ヶ所駐車場を作るといいのではないかと思います。
事 務 局	参考までに今中央公民館にある駐車場が約 60 台。イベントをすると、キャパの何倍分の車が来る。今中央乳児など使っていない駐車場隣接地まで広げていくと 100 台近い台数がとれる。敷地内にさらにとると、駐車場が一番少ない低層案にしても、今の倍以上の台数が確保できるのかなと思います。そこを立体駐車場案も含めて、さあ何台まで確保したらいいのかなという上の想像が全然ついておりません。そこは利用の見通しも含めて、確保できる分をしていきたいと思っております。
部 会 長	前の公園も、せっかくつくるなら森の公園など独特なものにしたらどうかと思います。
事 務 局	屋根のある公園のような雨の日でも安心して遊べる施設をぜひ整備したいという思いの中で、お母さん方の主な居場所としては、屋内なのかなと考えています。屋外については、現在市内の各大きな規模の公園に乳幼児が安心して遊ぶことができるベビーエリアを整備していております。また、町谷市営住宅の跡地には新しい遊具などを取り入れたわくわくするような公園を作っていきたい。公園の大型遊具が壊れてもなかなか修理ができなかったものも、今後計画的にリニューアルしていこうとなっておりますので、市内の遊び場サテライトの充実と合わせてこちらの位置付けをどうするか考えさせていただこうと思います。 例えば、建物と一体になって、マルシェとかを行うとなった場合にあんまり遊具があると平面的な活用が制約される。ただ、どのようなものがあつたらいいのかっていうのはぜひお声、ご要望いただけたらと思います。
越 智 委 員	駐車場の話の続きになるが、たくさん欲しいというよりも一番は施設に車に乗って行きたくなるような入りやすい駐車場が欲しい。例えば立体駐車場のどこからでも道をまたいで施設に入っていけるような、要は行きやすい駐車場という観点で考えていただきたい。

織 田 委 員	私も日吉小学校の跡地をなにか使えないのかなとずっと思っている。 今現在、日吉小学校をどういうふうに使っているのか、耐震するつもりがあるのか、将来的な何か見通しがあるのかということをお聞きしたい。あと僕は雨の日にイオンモール行くの嫌なんですよ。それならフジグランに行こうかなと思う。駐車場が全天候型でものすごく利便性がいい。本当に立体駐車場も検討の余地があるなと思ったりもします。 それから、最終的な決定する際に何をもってして決定材料になるのかというのがすごく気になるところです。まだ実際にはできてないのかもしれませんが、利用者層への意向把握などどのようなスケジューリングで、対象者ややり方は決まっているのか。これらを踏まえた上での、たたき台の決定になるのか、あくまでも枠を決めてからニーズに合わせた配置になるのかということところについても教えていただきたいと思います。
事 務 局	まず 1 点目日吉小学校の今の利用状況について、校舎は市の倉庫として使われております。というのも耐震性等使い勝手の関係で特に用途が定まってないということもあります。グラウンドについては社会体育等に体育館含めて使われているような状況かと思っております。 今後をどういう形で決定していくかということですが、昨年来、どのような機能を入れるべきかということについて各課から聞き取りをした結果基本構想ができており、より精査をしていく必要がある。 またお母さん方や中高生対象のアンケート調査を踏まえて基本構想を策定したわけですが、その中で、より具体的に使い勝手を考えながら、もっと必要な機能、規模等の聞き取りを今後始めさせていただこうと思っております。その際に、何もないとイメージが湧かないということもあって、まず視覚的にわかりやすくつくったものが今回のたたき台です。 このたたき台から決めるわけではなくて、いろんなところで意見を聞いていく中で、このプランを修正していきながら、多くの方からこれはベターだねと言ってもらえる案に集約していこうと思っております。 その過程が今後、市民向けのワークショップ、アンケート調査、小学生中学生、お母さん方のヒアリングを通して最終的に、事務局が日本総研さんの方にプラン修正していただいた案をどんどん提示していくような積み重ねを次回の会議、さらに次の会議という中で、ご提示させていただく流れになろうかと思っております。
織 田 委 員	利用者層への意向把握の実施について、日時・対象者・方法など具体的なことはまだ決まってない感じですかね。

事務局	様々な層からヒアリングやワークショップを実施する予定ですが、ネウボラ施設のことはまちなか活性化のリーディングプロジェクトとしても進めたいというところがありますので、フィールドワークなどをしながらネウボラ施設がどうあるべきか考える中高生向けのワークショップを9月下旬、10月の中旬2回に分けて実施しようと思っております。 また同時期に、子育てサークルのお母さん方や、近くの小学校でのヒアリング、公民館の利用者や市民代表の方にもワークショップにきていただいて、多世代が交流できる場所に落とし込みたいと考えております。 P T A関係もお母さん目線でいろんなご意見いただける立場だと思いますので、小さい各学校単位でも、必要に応じて出向いて参ります。 今日お配りした取り組み事例なども参考にしながら、あったらいいよねという案について随時私達に情報いただけるとありがたいと思います。 園でお母さん方集まるよという話があったら、出向いて行くのも結構ですし、やはり皆さんに使っていただくためには、いい施設にしないといけないので、様々な声を聞かせていただきたいと思います。本当に思っています。
織田委員	例えば、僕、雨の日は行きたくないけど、イオンモールは好きなんです。今治にイオンモールができると決まった時にすごくワクワクして、もし、どんなショップが入って欲しいか、イオンさんから市民にアンケートなんかしたら、めっちゃ意見出ると思うんですね。そんなことで、わくわくターゲットの宣伝というか、思いっきり情報発信をして、イオンモールに来ている人の声を集めたり、ネットでもいいですし、こんなのやってほしいというような意見でめちゃくちゃくると思うんです。 だから、ワクワクする施設の宣伝をまずしながら、ワクワクを集めるためにまず何が欲しいのかをもっと広く意見をいろいろとつたらどうかと思います。せっかくならワクワクしたいなと思いますので。
事務局	ウェブでアンケートも取れますし、ご意見もいただけますので、市の検討しうるワクワクな取り組みの発信とあわせて、情報をキャッチできる。そういった広く意見をもらえる部分と、ニッチなところでターゲット絞って聞いていく部分と、ぜひ参考にさせていただけたらなと思います。 今後の事業スケジュールの説明 次回は11月中旬開催予定 当会の閉会

会議の経過を記載し、その内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

部会長 泉 浩徳

署名委員 織田 真吾